

- 問1 1857年、イギリスに雇われていたインド人兵士たちが、弾薬の包み紙に牛や豚の脂が塗られているという噂などをきっかけに、信仰上の理由から反発して引き起こした大規模な反乱を何といいますか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. アヘン戦争 2. 義和団事件 3. 太平天国の乱 4. インド大反乱
- 問2 1858年、幕府の大老であった井伊直弼はアメリカとの間にある条約を結びました。この条約の締結が、尊王攘夷運動を激化させるなど国内の大きな反発を招いた主な理由として最も適切なものを選びなさい。 (2025年 青森県公立入試 類似)
1. 開港場を下田と函館の2港に限定したから 2. 朝廷の許可を得ずに日米和親条約を結んだから 3. 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから 4. 日本に開港自主権がある平等な条約だったから
- 問3 1842年、江戸幕府はそれまでの強硬な対外政策を改め、外国船に燃料や水を与えて退散させる「薪水給与令」を出しました。この政策転換の直接的な背景となった、イギリスが清を破ったアジアでの出来事として正しいものはどれですか。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. ロシアの南下政策 2. 日清戦争 3. ペリー来航 4. アヘン戦争
- 問4 1853年、アメリカがペリーを浦賀へ派遣し、日本に対して強く開国を求めた当時の歴史的な背景として、最も適切な理由はどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 日本で産出される銀を独占的に輸入することで、世界的な銀不足を解消しようとしたから。 2. 太平洋での捕鯨や中国との貿易のために、石炭や食料を補給する拠点を日本に確保したかったから。 3. キリスト教を日本に広めることで、アジアにおけるアメリカの文化的影響力を強めたかったから。 4. ロシアによる日本南下を防ぐために、アメリカが日本を軍事的な同盟国にする必要があったから。
- 問5 1850年代のアメリカにおいて、大西洋を約7ヶ月かけて渡る従来のルートに対し、太平洋を約18日間で横断する新航路の構想が検討されていた。この航路を実現するために、日本に対して行われた要求の内容として正しいものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 太平洋を横断する民間船舶を保護するため、日本の沿岸に最新の灯台を設置すること 2. 蒸気船が航行を続けるために必要な石炭の補給地として、日本の港を開放すること。 3. アメリカから日本へ向かう航路周辺での、大規模な海底炭鉱の開発を許可すること。 4. 太平洋の安全を確保するために、アメリカの軍事顧問団を江戸に常駐させること。
- 問6 19世紀のイギリスにおいて、産業革命の進展にともない発生した社会状況の説明として、背景や因果関係が最も正しいものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 工場の機械化により生産力は飛躍的に向上したが、資本家と労働者の間に大きな格差が生じ、不衛生な住環境や児童労働が深刻な問題となった。 2. 世界恐慌の影響で失業者が急増したため、労働者は政府主導の公共事業に従事することで、労働組合を解散して国家の近代化に協力した。 3. ルネサンスによる人間中心の考え方が普及した結果、労働者の権利が法律で即座に保護され、産業革命の初期から安定した生活が送られた。 4. 宗教改革によって教会の権威が低下したことで、労働者は伝統的な生活習慣を捨て、都市部から農村部へと大規模な移住を開始した。
- 問7 19世紀半ば、イギリスが清（中国）に勝利したアヘン戦争の結果は、日本を含む東アジア諸国に大きな衝撃を与えました。この戦争が日本に与えた歴史的な影響として最も適切な説明は、次のうちどれですか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. アメリカ合衆国の仲介により、日本は清とともにヨーロッパ諸国との不平等条約を改正した。 2. イギリスと協力してロシアの南下を防ぐため、日英同盟を締結する直接のきっかけとなった。 3. 清の支配力が強まったことで、日本は清への朝貢貿易を拡大させる方針をとった。 4. 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。
- 問8 井伊直弼が結んだ日米修好通商条約は、日本にとって不利な内容を含む不平等条約であったとされます。その不平等な内容の説明として正しいものを選んでください。 (2026年 京都府公立入試 類似)
1. アメリカに領事裁判権（治外法権）を認め、日本に開港自主権がなかったこと 2. アメリカに領事裁判権（治外法権）はなく、日本にのみ開港自主権があったこと 3. 日本に領事裁判権（治外法権）を認めさせ、アメリカの開港自主権を奪ったこと 4. 日本に領事裁判権（治外法権）がなく、アメリカにのみ認められていたこと
- 問9 江戸時代に毛利氏が領主を務めた外様大名の藩で、1864年にイギリス、フランス、アメリカ、オランダの4か国連合艦隊によって下関の砲台を占領されるなどの経験を経て、倒幕運動の中心的役割を果たすようになった藩はどこですか。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 薩摩藩 2. 長州藩 3. 水戸藩 4. 松前藩
- 問10 1842年、アヘン戦争で清がイギリスに敗北したという情報を得た江戸幕府は、外国船を武力で追い払う従来の政策を廃止しました。このとき、日本に漂着した外国船に対して薪（燃料）や水、食料を供給し、穏やかに退去させることを命じた法令を何といいますか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 薪水給与令 2. 鎖国令 3. 生類憐みの令 4. 武家諸法度
- 問11 1858年に、朝廷の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、さらに自身の政策に反対する大名や武士たちを「安政の大獄」で厳しく弾圧した大老が、1860年に江戸城の門外で暗殺された事件を何といいますか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
1. 生麦事件 2. 蚕社の獄 3. 桜田門外の変 4. 禁門の変
- 問12 幕末の動乱期において、1858年の日米修好通商条約の締結から、1860年に大老の井伊直弼が暗殺される「桜田門外の変」が起こるまでの期間に、井伊直弼が反対派の武士らを厳しく処罰した出来事の名称として、正しいものはどれですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 安政の大獄 2. 生麦事件 3. 禁門の変 4. 大政奉還
- 問13 1867年、江戸幕府の第15代将軍であった徳川慶喜が、政権を朝廷に返上した出来事を何といいますか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. 廃藩置県 2. 王政復古の大号令 3. 版籍奉還 4. 大政奉還
- 問14 江戸幕府が1842年に出した、遭難した外国船に対して燃料や食料を与えて帰すように命じた法令の名称と、その法令が出る前の1825年に異国船を厳しく排斥するために出されていた法令の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. (1842年の法令) 異国船打払令 2. (1842年の法令) 日米和親条約 3. (1842年の法令) 薪水給与令 4. (1842年の法令) 薪水給与令
— (1825年の法令) 薪水給与令 — (1825年の法令) 異国船打払令 — (1825年の法令) 武家諸法度 — (1825年の法令) 異国船打払令

答え合わせ・解説

問1	答え 4 インド大反乱	1857年に始まったこの反乱は、イギリスの植民地支配に対するインド人兵士（シパーヒー）の不満が爆発したことで発生しました。反乱は兵士だけでなく、土地を奪われた農民や権限を失った藩王など、イギリスの支配に苦しんでいた幅広い層に広がり、インド全域におよぶ民族的な抵抗運動となりました。
問2	答え 3 朝廷の許可を得ずに日米修好通商条約を結んだから	日米修好通商条約の調印に際し、孝明天皇は反対の意向を示していましたが、大老の井伊直弼は朝廷の許可（勅許）を得ないまま調印を断行しました。この違勅調印が、天皇を尊ぶ「尊王」の思想を持つ人々からの激しい怒りを買ひ、倒幕運動へとつながる尊王攘夷運動が激化しました。なお、日米和親条約はこれより前の1854年に結ばれた条約であり、井伊直弼が大老になる前の出来事です。
問3	答え 4 アヘン戦争	当時のアジアの大国であった清が、イギリスとのアヘン戦争に敗れたというニュースは、オランダ風説書などを通じて江戸幕府に大きな衝撃を与えました。幕府は、強力な軍事力を持つ西洋列強と武力で衝突することを避けるため、1825年から続けていた異国船打払令を緩め、穏健な対応へと方針を転換しました。
問4	答え 2 太平洋での捕鯨や中国との貿易のために、石炭や食料を補給する拠点を日本に確保したかったから。	当時のアメリカでは産業革命が進展しており、機械用の潤滑油や灯火用の油を得るための捕鯨が盛んでした。また、巨大市場である中国（清）との貿易も活発化しており、太平洋を横断する際の石炭や水、食料の補給基地として日本の港を開放させることがアメリカにとっての最優先課題でした。
問5	答え 2 蒸気船が航行を続けるために必要な石炭の補給地として、日本の港を開放すること。	アメリカは、アジア貿易においてヨーロッパ諸国に対して優位に立つため、時間短縮が可能な太平洋横断航路を重視しました。しかし、当時の蒸気船は燃費が悪く、長距離の航行には途中の港での石炭補給が不可欠であったため、日本に対して燃料補給拠点としての役割を強く求めました。
問6	答え 1 工場の機械化により生産力は飛躍的に向上したが、資本家と労働者の間に大きな格差が生じ、不衛生な住環境や児童労働が深刻な問題となった。	産業革命は人々の生活を便利にしましたが、同時に多くの社会的矛盾を生み出しました。資本家は利益を追求するために労働者を安く長時間働かせ、都市部では急激な人口流入によりスラム化が進むなど、深刻な社会問題が発生しました。こうした状況を解決しようとする動きが、後の社会主義思想や労働立法へとつながっていきます。
問7	答え 4 外国の侵略に対する備えが必要であるという認識が広まり、国防意識が高まる契機となった。	アヘン戦争において、当時大国と考えられていた清が近代的な軍事力を持つイギリスに敗北した事実は、江戸時代の日本に強い危機感を与えました。これにより、従来の異国船打払令を緩めて燃料や食料を与える薪水給与令を出す一方で、沿岸警備の強化や西洋式の軍事技術の導入など、外国の侵略に備える動きが本格化しました。
問8	答え 1 アメリカに領事裁判権（治外法権）を認め、日本に関税自主権がなかったこと	この条約では、日本国内でアメリカ人が罪を犯してもアメリカの領事が裁く「領事裁判権」を認め、さらに日本が輸入品に対して自由に税率を決める権利である「関税自主権」が認められていませんでした。これらの条項を改正することは、明治政府の外交における最優先課題となりました。
問9	答え 2 長州藩	毛利氏を藩主とする長州藩は、関ヶ原の戦い以降、徳川家から遠ざけられた外様大名の立場にありました。幕末には激しい攘夷運動を展開しましたが、下関事件で連合艦隊に敗北したことで、攘夷の不可能性を認識します。その後、藩の軍制を近代化し、同じく有力な外様大名であった薩摩藩と協力して、江戸幕府を倒す運動を強力に主導しました。
問10	答え 1 薪水給与令	幕府は清の敗北を通じて、西洋の軍事力を背景とした開国の圧力を察知しました。それまでの「異国船打払令」を継続することでイギリスなどの強国を刺激し、日本が戦争に巻き込まれることを防ぐ目的で「薪水給与令」が出されました。これにより、日本の対外政策は一時的に柔軟化することとなりました。
問11	答え 3 桜田門外の変	大老の井伊直弼は、独断での条約締結や反対勢力の処罰といった強硬な政治を行いました。これに激憤した水戸藩の元藩士らによって暗殺されました。この事件により、幕府の権威は大きく失墜し、幕末の動乱が加速することとなりました。
問12	答え 1 安政の大獄	日米修好通商条約の締結強行に対する批判を封じ込めるために行われた出来事です。この強硬な弾圧は尊王攘夷派の激しい怒りを買ひ、のちに江戸城の桜田門外で井伊直弼が暗殺されるきっかけとなりました。
問13	答え 4 大政奉還	幕府の権威が失墜し、薩摩藩や長州藩による武力倒幕の動きが強まる中、徳川慶喜は自ら政権を朝廷に返すことで倒幕の機運をそらそうとしました。これが大政奉還です。その後、倒幕派の主導によって天皇中心の新政府を樹立することを宣言した「王政復古の大号令」が出されることとなります。
問14	答え 4 （1842年の法令）薪水給与令 —（1825年の法令）異国船打払令	1825年に出された「異国船打払令」は、日本に接近する外国船を理由を問わず砲撃して追い払うというものでした。その後、清がアヘン戦争で敗北したことを受け、幕府は1842年に「薪水給与令（天保の薪水給与令）」を出し、漂着した船に薪（燃料）や水、食料を提供して穏やかに退去させる方針へと変更しました。ペリーの来航はこの11年後の1853年です。